



足利市空き家等の安全管理に関する条例が制定されました。

◎本市の空き家等の現状と対策（3月議会一般質問で取り上げました。）

空き家等に係る危険性や悪影響などが全国的な課題となっておりますが、本市の総住宅数69,360件のうち空き家数は11,150件、約16.1%となっております。

適切に管理されている空き家は問題ないのですが、倒壊の恐れのある「危険な空き家」が防災上又は防犯上等からも問題となっており、市役所への相談件数も急増しております。

国土交通省では、平成25年度から、空き家の所有者が、売却や賃貸、管理代行業への委託、解体といく

つかの選択肢について、適切に判断できるように支援する相談窓口を各都道府県に設け、空き家を流通させるための対策や管理を代行する業者、業界の育成に取り組む予定です。

本市においても、「足利市空き家等の安全管理に関する条例」制定に伴い、所有者への指導・助言のなかで、民間の関係機関との連携を密にして空き家対策に最善を尽くすとの答弁をいただいております。



私はこれまで、中越地震、中越沖地震、岩手・宮城内陸地震にボランティアとして災害対策業務に参画させていただき、発生直後、1ヵ月後、2ヵ月後、半年後とその都度従事し、被災直後から時間とともに変化する被災地のニーズを検証して参りました。

発災から2年が経過した東日本大震災では、平成23年度に12回、平成24年度に9回被災地を訪問させていただき、災害復旧、炊き出し、復興支援買い物ツアー等バスツアーの企画により延べ340人の方々のご協力をいただき、時間とともに変化する被災者ニーズに対応させていただきました。

今後も被災地の必要なニーズを調査させていただき、必要な支援を継続させていただきます。



石巻市震災ガレキ撤去ボランティア



市民のみなさまから見て分かり難い市議会活動を少しでも多くの方にご理解いただけるよう、私は議会改革推進協議会の中で理事として制度づくりを行って参りました。

本会議での一般質問のように他の議会内会議（常任委員会、全員協議会など）を公開することや議会報告会の開催など議会や議員の活動を明らかにするための「足利市議会基本条例」の条文づくりの中心的役割を担って参りました。

現在、条例案に対していただいた市民のみなさまのご意見を参考に最終調製を行い、6月市議会定例会に議員提案すべく準備を進めております。

この条例制定により開かれた議会を目指すとともに議員活動の「見える化」、執行部に対峙・政策提案できる議会を成し遂げ、より良い足利市づくりに邁進いたします。

必ず実行します	見	る	市民の皆様がどのようなことで困っているのか、 必ず現場を見に行きます。
	聞	く	市（行政）に対し、どのようなことで困っているのか、 必ず要望を伺います。
	言	う	市（行政）の担当部署に 必ず伝えます。
	答	える	相談された方に担当部署と話し合った内容と結果を 必ず答えます。

栗原おさむ事務所 〒326-0824 足利市八幡町1-2-8
TEL：0284-72-8292 FAX：0284-73-6681



※お困り事や不都合な点などございましたら、お気軽にお申し付けください（＾＾）v



このたび、平成25年第1回市議会定例会が閉会し、ちょうど第二期目も2年を経過、今任期の折り返しを向かえることが出来ました。

これもひとえに、みなさま方の日頃のご指導・ご支援の賜物であり大変ありがたく感謝申し上げますとともに、引き続き変わらぬご高配を賜りますよう、今後ともよろしくお願い申し上げます。

さて、二期目に入ってから私の議会活動は、一期目以上にその範囲を広げ、政策作成による当局への提案、予算及び決算の税金の無駄がないかの視点でのチェックと財務会計の技術的なチェックを積極的に行うとともに、一般質問においては今期7回（前期9回）に及ぶ市当局への提案及び追及を行い、常任委員会、全員協議会でも積極的に質疑するなど政策派議員を自負し行動いたしております。



自由民主党本部プレスセンターにて



◎足利市道の駅構想とは？

本市東部（瑞穂野町）国道50号線と県道足利館林線の立体交差点北西部に道の駅「しもつけ」と同程度規模の敷地面積「道の駅」を平成29年度を目途にオープンする計画を発表し、平成25年度には調査事業費3,200万円が予算化されています。



◎足利市構想の課題

① 国道50号線既存「道の駅」の経営不振

全国にある道の駅のほとんどが赤字経営に悩み、黒字経営はごく一部、国道50号線沿線道の駅「みかも」「思川」は苦しい経営状況が続いています。

② 地場産農作物安定供給の不安

地場産農作物の生産量増量は難しく年間を通しての安定供給に不安があり、JA足利でさえも足利市公設市場から農作物を仕入れています。

③ 市内への回遊が見込めない

立地が市の東端であり佐野方面進行車両の市内回遊は絶望的であり、反対車線でもその可能性が持てないことは足利フラワーパークのお客様の市内回遊の少なさを見れば一目瞭然です。

④ 防災拠点として不適

当該地は、過去に2m近くの出水による被害が重なり、古い農家では軒下に舟が吊るされるなど過去の被災地であり、防災拠点としての機能を持たせるのに適切とはいえません。